

運用報告書 (全体版)

ネット証券専用ファンドシリーズ 新興市場日本株 レアル型

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／株式
信託期間	2011年7月29日から2021年7月13日までです。
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。
主要投資対象	主として円建ての外国投資信託である「ジャパンスモールミッドキャップファンドクラスBRL」の投資信託証券へ投資を行います。また、証券投資信託であるDIAマネーマザーファンド受益証券への投資も行います。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。
運用方法	外国投資信託への投資を通じて、主としてわが国の新興市場の株式に実質的な投資を行います。 外国投資信託への投資比率は、原則として高位を保ちます。 外国投資信託の円建て資産部分については、原則として対ブラジルレアルで為替取引(円売りレアル買いの為替予約取引等)を行います。
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	決算日(原則として毎月13日。休業日の場合は翌営業日。)に、経費控除後の利子配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額を分配対象額とし、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。

第109期	<決算日	2020年8月13日>
第110期	<決算日	2020年9月14日>
第111期	<決算日	2020年10月13日>
第112期	<決算日	2020年11月13日>
第113期	<決算日	2020年12月14日>
第114期	<決算日	2021年1月13日>

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「ネット証券専用ファンドシリーズ 新興市場日本株 レアル型」は、2021年1月13日に第114期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された

販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

ネット証券専用ファンドシリーズ 新興市場日本株 レアル型

■最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			投資組 資益入	信託比 証券率	純資産 総額
		(分配落)	税 込 分	期 騰 落			
第15作成期	85期(2018年8月13日)	円 26,273	円 60	% △4.5	% 98.9	百万円 911	
	86期(2018年9月13日)	24,253	60	△7.5	99.1	839	
	87期(2018年10月15日)	26,689	60	10.3	98.5	907	
	88期(2018年11月13日)	26,868	60	0.9	99.0	915	
	89期(2018年12月13日)	23,603	60	△11.9	98.6	802	
	90期(2019年1月15日)	21,501	60	△8.7	98.8	720	
第16作成期	91期(2019年2月13日)	22,005	60	2.6	98.9	737	
	92期(2019年3月13日)	24,173	60	10.1	99.1	807	
	93期(2019年4月15日)	24,707	60	2.5	99.1	823	
	94期(2019年5月13日)	22,965	60	△6.8	98.8	762	
	95期(2019年6月13日)	23,922	60	4.4	99.0	802	
	96期(2019年7月16日)	23,351	60	△2.1	98.9	779	
第17作成期	97期(2019年8月13日)	20,469	60	△12.1	98.9	687	
	98期(2019年9月13日)	19,931	60	△2.3	99.1	663	
	99期(2019年10月15日)	19,339	60	△2.7	99.3	632	
	100期(2019年11月13日)	19,456	60	0.9	98.6	623	
	101期(2019年12月13日)	20,647	60	6.4	99.0	650	
	102期(2020年1月14日)	22,116	60	7.4	98.9	673	
第18作成期	103期(2020年2月13日)	20,046	60	△9.1	97.8	612	
	104期(2020年3月13日)	12,264	60	△38.5	97.4	372	
	105期(2020年4月13日)	13,651	60	11.8	98.3	408	
	106期(2020年5月13日)	13,777	60	1.4	98.0	413	
	107期(2020年6月15日)	18,972	60	38.1	97.7	663	
	108期(2020年7月13日)	18,962	60	0.3	97.7	579	
第19作成期	109期(2020年8月13日)	17,853	60	△5.5	97.9	544	
	110期(2020年9月14日)	21,550	60	21.0	99.1	639	
	111期(2020年10月13日)	24,417	60	13.6	98.1	665	
	112期(2020年11月13日)	23,619	60	△3.0	98.1	664	
	113期(2020年12月14日)	24,500	60	4.0	98.5	667	
	114期(2021年1月13日)	23,134	60	△5.3	97.8	603	

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

(注3) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

(注4) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

■過去6ヶ月間の基準価額の推移

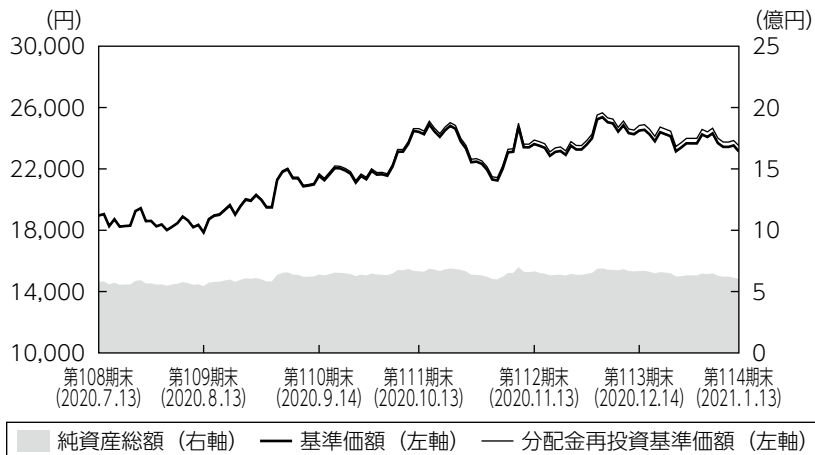
決算期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		投資信託受益証券組入比率
			騰	落	
第109期	(期首) 2020年7月13日	円 18,962	%	-	% 97.7
	7月 末	18,376		△3.1	98.1
	(期末) 2020年8月13日	17,913		△5.5	97.9
第110期	(期首) 2020年8月13日	17,853		-	97.9
	8月 末	19,488		9.2	99.0
	(期末) 2020年9月14日	21,610		21.0	99.1
第111期	(期首) 2020年9月14日	21,550		-	99.1
	9月 末	21,873		1.5	98.7
	(期末) 2020年10月13日	24,477		13.6	98.1
第112期	(期首) 2020年10月13日	24,417		-	98.1
	10月 末	21,949		△10.1	98.8
	(期末) 2020年11月13日	23,679		△3.0	98.1
第113期	(期首) 2020年11月13日	23,619		-	98.1
	11月 末	23,583		△0.2	98.1
	(期末) 2020年12月14日	24,560		4.0	98.5
第114期	(期首) 2020年12月14日	24,500		-	98.5
	12月 末	24,243		△1.0	99.0
	(期末) 2021年1月13日	23,194		△5.3	97.8

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

■第109期～第114期の運用経過（2020年7月14日から2021年1月13日まで）

基準価額等の推移



第109期首：18,962円
 第114期末：23,134円
 (既払分配金360円)
 騰落率：24.0%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

新型コロナウイルスのワクチン開発への期待や、各国の経済対策、金融政策に支えられ国内株式市場が上昇したことに加え、B A S Eやユーザベースなどの保有銘柄がプラスに寄与したことなどから基準価額は上昇しました。

◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
ジャパンスモールミッドキャップファンドクラスB R L	24.5%
D I A Mマネーマザーファンド	△0.0%

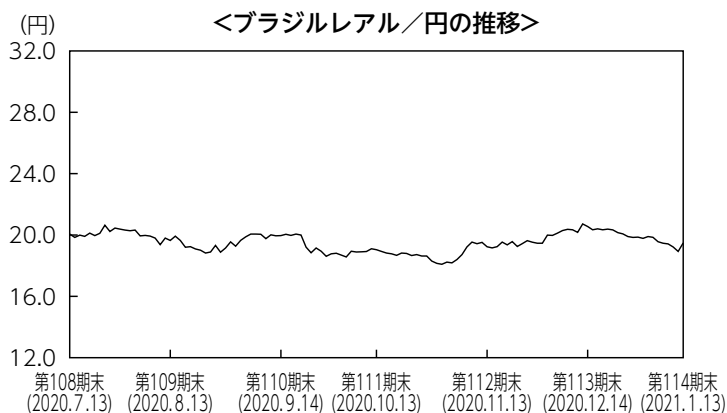
(注) ジャパンスモールミッドキャップファンドクラスB R Lの騰落率は、分配金を再投資したものとみなして計算したものです。

投資環境

国内外での新型コロナウイルス感染拡大への懸念が重石となり調整する場面も見られましたが、各国の景気刺激策や積極的な金融緩和が好感されたこと、米国大統領選挙を巡る不透明感の後退、ワクチン開発への期待などから国内株式市場は上昇しました。

為替市場では、新型コロナウイルスの感染拡大や財政悪化への懸念などから、前作成期末比ではブラジルレアルは対円で下落しました。

国内短期金融市場では、3ヵ月物国庫短期証券利回りは日銀の金融緩和政策の影響からマイナス圏で推移しました。日銀が大規模な金融緩和政策を続けており、国債利回りに低下圧力がかかっていることが要因となりました。



ポートフォリオについて

●当ファンド

ジャパンスモールミッドキャップファンドクラスBRLの組入比率は原則として高位を維持し、DIAMマネーマザーファンドへの投資も行いました。

●ジャパンスモールミッドキャップファンドクラスBRL

銘柄選択については、独力で成長を遂げると考える企業を中心に投資しました。不動産業、機械などのウェイトを引き上げた一方で、バリュエーションとリスク管理の観点から情報・通信業、証券、商品先物取引業などのウェイトを引き下げました。

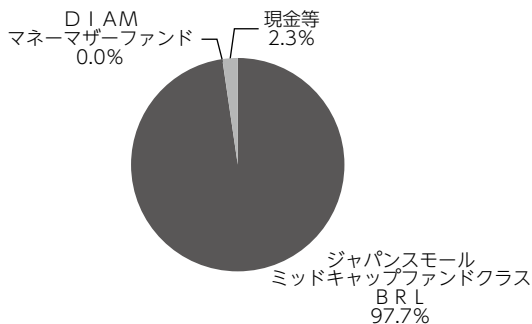
また、円売りブラジルリアル買いの為替取引等を行いました。

●DIAMマネーマザーファンド

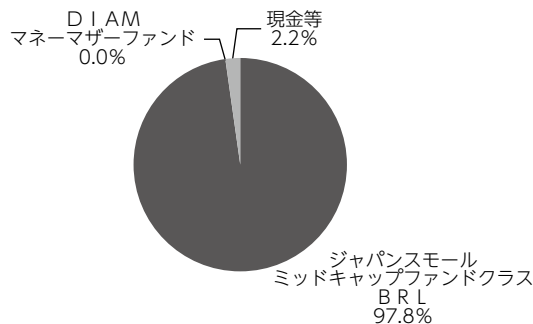
残存期間の短い国債や政府保証債などで運用を行いました。

ポートフォリオ構成 ※比率は純資産総額に対する割合です。

前作成期末



当作成期末



分配金

当作成期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期	第114期
	2020年7月14日 ~2020年8月13日	2020年8月14日 ~2020年9月14日	2020年9月15日 ~2020年10月13日	2020年10月14日 ~2020年11月13日	2020年11月14日 ~2020年12月14日	2020年12月15日 ~2021年1月13日
当期分配金（税引前）	60円	60円	60円	60円	60円	60円
対基準価額比率	0.33%	0.28%	0.25%	0.25%	0.24%	0.26%
当期の収益	45円	60円	60円	40円	60円	41円
当期の収益以外	14円	-円	-円	19円	-円	18円
翌期繰越分配対象額	23,333円	23,338円	23,360円	23,342円	23,461円	23,443円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、ジャパンスモールミッドキャップファンドクラスBRLを高位に組入れることを基本とした運用を行います。また、DIAMマネーマザーファンドへの投資も行います。

●ジャパンスモールミッドキャップファンドクラスBRL

医療、行政や金融、エネルギーなど、産業構造の変化が加速しうる領域に注目しています。また消費者向けでは、われわれ個々人のライフスタイルの変化が起点となるケースに着目しています。様々な社会課題が顕在化する中、その課題を定義、事業化して解決にあたる企業群は、今後成長を加速するものと見ています。こうした企業の先行きに期待し、積極的に評価していく方針です。加えて、円売りブラジルリアル買いの為替予約取引等を行います。

●DIAMマネーマザーファンド

日銀は新型コロナウイルスによる景気の落ち込みに対処するため、緩和的な金融政策を継続していくと予想しています。そのため、今後も公社債を中心に投資を行い、安定的な運用をめざしていきます。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第109期～第114期 (2020年7月14日 ～2021年1月13日)		項目の概要
	金額	比率	
	(a) 信託報酬	139円	
(投信会社)	(50)	(0.227)	
(販売会社)	(85)	(0.388)	
(受託会社)	(4)	(0.016)	
(b) その他費用 (監査費用)	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	139	0.632	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

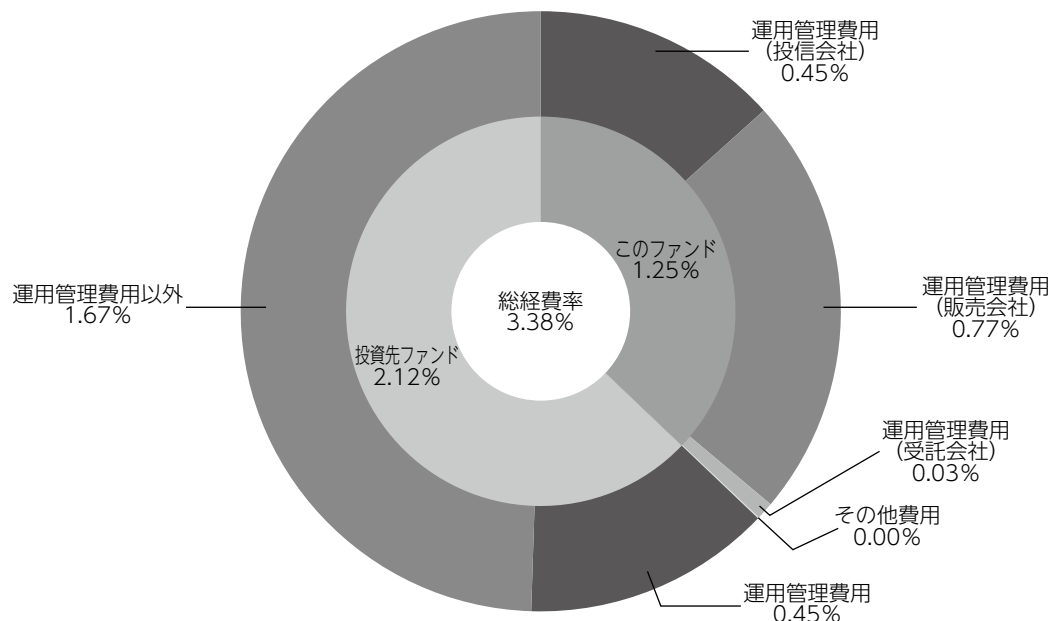
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は3.38%です。



総経費率 (①+②+③)	3.38%
①このファンドの費用の比率	1.25%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.45%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	1.67%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買及び取引の状況（2020年7月14日から2021年1月13日まで）

投資信託受益証券

		第 109 期 ～ 第 114 期			
		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 邦 建	千口	千円	千口	千円	
	ジャパンスモールミッド キャップファンドクラスBRL	1.22887	31,000	5.405	132,817

(注) 金額は受渡代金です。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2020年7月14日から2021年1月13日まで）

期中の親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

■利害関係人との取引状況等（2020年7月14日から2021年1月13日まで）

【ネット証券専用ファンドシリーズ 新興市場日本株 レアル型における利害関係人との取引状況等】

期中の利害関係人との取引等はありません。

【D I AMマネーマザーファンドにおける利害関係人との取引状況等】

期中の利害関係人との取引状況

決 算 期		第 109 期 ～ 第 114 期				
区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		B/A	売付額等 C	
		うち利害関係人 との取引状況D	D/C			
公 社 債	百万円 356	百万円 155	% 43.7	百万円 -	百万円 -	% -

平均保有割合 0.0%

(注) 平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

■組入資産の明細

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ア ン ド 名	第 18 作 成 期 末		第 19 作 成 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額	比 率
	千□	千□	千円	%
ジャパンスモールミッドキャップファンドクラスBRL	28.51343	24.3373	590,349	97.8
合 計	28.51343	24.3373	590,349	97.8

(注) 比率欄は純資産総額に対する比率です。

(2) 親投資信託残高

	第 18 作 成 期 末		第 19 作 成 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額	
	千□	千□	千円	
D I A M マ ネ ー マ ザ ー ファ ン ド	103	103	104	

■投資信託財産の構成

2021年1月13日現在

項 目	第 19 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	590,349	95.7
D I A M マネーマザーファンド	104	0.0
コール・ローン等、その他	26,285	4.3
投資信託財産総額	616,740	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年8月13日)、(2020年9月14日)、(2020年10月13日)、(2020年11月13日)、(2020年12月14日)、(2021年1月13日)現在

項 目	第109期末	第110期末	第111期末	第112期末	第113期末	第114期末
(A) 資 産	548,286,081円	645,717,132円	715,996,077円	672,010,560円	676,374,990円	616,740,162円
コール・ローン等	15,578,854	11,534,797	13,734,065	11,088,041	18,600,639	14,225,068
投資信託受益証券(評価額)	532,602,358	634,077,476	652,625,568	651,703,046	657,669,513	590,349,886
DIAMマネーマザーファンド(評価額)	104,869	104,859	104,859	104,849	104,838	104,838
未 収 入 金	—	—	49,531,585	9,114,624	—	12,060,370
(B) 負 債	4,091,661	6,163,333	50,565,158	7,405,738	8,654,201	12,847,040
未払収益分配金	1,828,948	1,780,656	1,635,199	1,688,328	1,635,208	1,566,237
未払解約金	1,656,331	3,715,254	48,281,628	5,018,741	6,318,758	10,619,261
未払信託報酬	604,961	665,857	646,813	697,052	698,614	660,013
その他未払費用	1,421	1,566	1,518	1,617	1,621	1,529
(C) 純資産総額(A-B)	544,194,420	639,553,799	665,430,919	664,604,822	667,720,789	603,893,122
元 本	304,824,761	296,776,099	272,533,246	281,388,004	272,534,681	261,039,552
次期繰越損益金	239,369,659	342,777,700	392,897,673	383,216,818	395,186,108	342,853,570
(D) 受 益 権 総 口 数	304,824,761口	296,776,099口	272,533,246口	281,388,004口	272,534,681口	261,039,552口
1万口当たり基準価額(C/D)	17,853円	21,550円	24,417円	23,619円	24,500円	23,134円

(注) 第108期末における元本額は305,552,826円、当作成期間(第109期～第114期)中における追加設定元本額は54,090,178円、同解約元本額は98,603,452円です。

■損益の状況

〔自 2020年7月14日 至 2020年8月13日〕〔自 2020年8月14日 至 2020年9月14日〕〔自 2020年9月15日 至 2020年10月13日〕〔自 2020年10月14日 至 2020年11月13日〕〔自 2020年11月14日 至 2020年12月14日〕〔自 2020年12月15日 至 2021年1月13日〕

項 目	第 109 期	第 110 期	第 111 期	第 112 期	第 113 期	第 114 期
(A) 配 当 等 収 益	1,990,255円	1,949,826円	1,816,283円	1,851,960円	1,767,257円	1,739,504円
受 取 配 当 金	1,990,731	1,950,477	1,816,533	1,852,350	1,767,631	1,739,736
受 取 利 息	-	7	1	4	6	6
支 払 利 息	△476	△658	△251	△394	△380	△238
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△33,157,410	109,066,993	78,205,174	△21,386,652	23,804,101	△34,947,256
売 買 益	194,368	112,285,089	82,362,069	1,372,065	24,316,815	1,200,600
売 買 損	△33,351,778	△3,218,096	△4,156,895	△22,758,717	△512,714	△36,147,856
(C) 信 託 報 酬 等	△606,382	△667,423	△648,331	△698,669	△700,235	△661,542
(D) 当 期 繰 越 損 益 金 (A+B+C)	△31,773,537	110,349,396	79,373,126	△20,233,361	24,871,123	△33,869,294
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△78,780,101	△107,466,407	994,993	74,427,568	49,094,632	68,013,340
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	351,752,245	341,675,367	314,164,753	330,710,939	322,855,561	310,275,761
(配 当 等 相 当 額)	(620,883,433)	(606,064,871)	(557,926,468)	(582,927,087)	(567,090,099)	(544,438,802)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△269,131,188)	(△264,389,504)	(△243,761,715)	(△252,216,148)	(△244,234,538)	(△234,163,041)
(G) 合 計 (D+E+F)	241,198,607	344,558,356	394,532,872	384,905,146	396,821,316	344,419,807
(H) 収 益 分 配 金	△1,828,948	△1,780,656	△1,635,199	△1,688,328	△1,635,208	△1,566,237
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	239,369,659	342,777,700	392,897,673	383,216,818	395,186,108	342,853,570
追 加 信 託 差 損 益 金	351,752,245	341,675,367	314,164,753	330,710,939	322,855,561	310,275,761
(配 当 等 相 当 額)	(620,883,433)	(606,064,871)	(557,926,468)	(582,927,087)	(567,090,099)	(544,438,802)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△269,131,188)	(△264,389,504)	(△243,761,715)	(△252,216,148)	(△244,234,538)	(△234,163,041)
分 配 準 備 積 立 金	90,371,443	86,575,611	78,732,920	73,892,582	72,330,547	67,525,112
繰 越 損 益 金	△202,754,029	△85,473,278	-	△21,386,703	-	△34,947,303

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	第 109 期	第 110 期	第 111 期	第 112 期	第 113 期	第 114 期
(a) 経費控除後の配当等収益	1,383,913円	1,938,123円	1,801,610円	1,153,342円	1,718,923円	1,078,009円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	421,371	0	3,154,965	0
(c) 収 益 調 整 金	620,883,433	606,064,871	557,926,468	582,927,087	567,090,099	544,438,802
(d) 分 配 準 備 積 立 金	90,816,478	86,418,144	78,145,138	74,427,568	69,091,867	68,013,340
(e) 当 期 分 配 対 象 額 (a+b+c+d)	713,083,824	694,421,138	638,294,587	658,507,997	641,055,854	613,530,151
(f) 1万口当たり当期分配対象額	23,393.24	23,398.82	23,420.80	23,402.13	23,521.99	23,503.34
(g) 分 配 金	1,828,948	1,780,656	1,635,199	1,688,328	1,635,208	1,566,237
(h) 1万口当たり分配金	60	60	60	60	60	60

■分配金のお知らせ

決 算 期	第 109 期	第 110 期	第 111 期	第 112 期	第 113 期	第 114 期
1 万口当たり分配金	60円	60円	60円	60円	60円	60円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

ジャパンスモールミッドキャップファンドクラスB R L

当ファンドは「ネット証券専用ファンドシリーズ 新興市場日本株 レアル型」が投資対象とする外国投資信託です。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

形 態	ケイマン籍円建て外国投資信託
主 要 投 資 対 象	主としてわが国の新興市場の株式*を投資対象とします。 *取得時において新興市場に上場（上場予定を含む）している銘柄とします。
投 資 態 度	①主としてわが国の新興市場の株式への投資を通じて、中長期的な信託財産の成長を目的として、積極的な運用を行います。 ②わが国のジャスダック、東証マザーズ等の上場株式を対象に、流動性、時価総額、信用力等を勘案し、基本ユニバースを策定します。基本ユニバースの銘柄を対象に、成長力、競争力、収益力、株価水準等を分析し、ファンダメンタルズおよびバリュエーションの観点から魅力的な銘柄を選択し、ポートフォリオを構築します。 ③株式への投資比率は、原則として高位を保ちます。 ④運用の効率化を図るため、わが国の株価指数を対象とした株価指数先物取引（日本以外での取引も含みます。）を活用する場合があります。 ⑤円建て資産については、原則として、円売り／ブラジルレアル買いの為替取引を行います。この場合、為替予約取引等を活用します。 ⑥銘柄選択にあたっては、アセットマネジメントOneの運用助言を受けます。
主 な 投 資 制 限	①有価証券の空売りは行いません。 ②デリバティブの使用はヘッジ目的に限定しません。 ③純資産総額の10%を超える借入れは行いません。 ④投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、純資産総額の5%以内とします。
投 資 顧 問 会 社	アセットマネジメントOne インターナショナル・リミテッド
副 投 資 顧 問 会 社	アセットマネジメントOne株式会社
受 託 銀 行	FirstCaribbean International Bank and Trust Company (Cayman) Limited.
管 理 事 務 代 行 会 社、 保 管 銀 行	Brown Brothers Harriman & Co.

ジャパンスモールミッドキャップファンドはケイマン籍外国投資信託で、2019年12月30日に会計期間が終了し、現地の公認会計士による財務諸表監査を受けて完了しています。以下は、2019年12月30日現在の財務諸表の原文の一部を翻訳・抜粋したものです。

損益計算書
自2019年1月1日 至2019年12月30日
(円建投資信託)

投資収益		
配当収益 (¥403,308の源泉税控除後)	¥	2,230,084
投資収益合計		<u>2,230,084</u>
費用		
会計処理・管理事務手数料		6,353,265
投資運用報酬		2,581,721
信託報酬		2,241,500
専門家報酬		2,011,838
証券代行手数料		1,391,121
保管手数料		553,870
為替代行手数料		143,441
支払利息		212,331
費用合計		<u>15,489,087</u>
投資純損失		<u>(13,259,003)</u>
実現純利益／損失および未実現評価益／損の純変動分		
実現純利益／損失：		
投資有価証券の売却		(34,062,501)
先物取引		3,474,875
外国為替取引および為替先渡契約		(39,603,233)
実現純損失		<u>(70,190,859)</u>
未実現評価益／損の純変動：		
投資有価証券		128,316,389
先物取引		1,830,000
外貨換算および為替先渡契約		31,972,404
未実現評価益の純変動分		<u>162,118,793</u>
実現純損失および未実現評価益の純変動分		<u>91,927,934</u>
運用による純資産の純増額	¥	<u>78,668,931</u>

要約組入資産明細 (2019年12月30日現在)

銘柄	数量	取得原価	公正価値	対純資産 比率
普通株式				
日本				
商業サービス				
Raksul, Inc.	14,600	¥ 35,129,451	¥ 54,823,000	8.2%
その他		26,192,551	26,805,500	4.0%
コンピューター		1,623,309	2,239,500	0.4%
各種金融サービス		33,326,338	29,065,500	4.3%
電力		13,857,137	20,622,500	3.1%
電子機器		33,154,246	40,264,700	6.0%*
エネルギー - 代替資源		21,883,820	29,550,000	4.4%
土木・建設		90,859	88,700	0.0%
娯楽		214,025	106,600	0.0%
食品		73,829	78,300	0.0%
ヘルスケア製品		400,837	199,000	0.0%
ヘルスケアサービス				
PeptiDream, Inc.	6,600	10,972,156	36,960,000	5.5%
その他		16,755,921	6,523,800	1.0%
保険		26,550,613	30,065,700	4.5%
インターネット				
Uzabase, Inc.	22,600	24,478,900	51,392,400	7.7%
その他		110,321,122	90,855,200	13.6%*
余暇時間		60,199	53,600	0.0%
機械 - その他				
Nittoku Co. Ltd.	9,100	24,212,609	34,625,500	5.2%
その他		220,907	183,800	0.0%
メディア		394,555	883,500	0.1%
医薬品		397,903	394,300	0.1%
不動産		197,936	217,000	0.0%
小売り		938,617	821,000	0.1%
半導体		5,356,114	6,161,600	0.9%
ソフトウェア		121,198,293	130,844,500	19.5%*
通信		4,391,112	5,145,000	0.8%
日本合計		512,393,359	598,970,200	89.4%
普通株式合計		512,393,359	598,970,200	89.4%

銘柄		元本	取得原価	公正価値	対純資産 比率
短期金融資産					
定期預金	JPY	41,834,054	41,834,054	41,834,054	6.2%
短期金融資産合計			<u>41,834,054</u>	<u>41,834,054</u>	6.2%
投資有価証券合計		¥	554,227,413	¥ 640,804,254	95.6%
負債およびその他資産額				<u>28,668,152</u>	4.4%
純資産				<u>¥ 669,472,406</u>	100.0%

* 個々の公正価値が純資産の5%未満の有価証券で構成されている。

クラスB R Lの2019年12月30日現在の為替先渡契約残高 (対純資産比率4.1%)

買建	契約先	契約金額	決済日	売建	契約金額	純額の 未実現評価益
BRL	Standard Chartered Bank	24,037,542	01/30/2020	JPY	622,343,892	¥ 27,589,205

2019年12月30日現在の先物取引契約残高 (対純資産比率0.0%)

ポジション	内容	満期日	契約数	未実現評価益
ロング	TOPIX先物2020年3月限	03/2020	1	¥ 50,000

D I A Mマネーマザーファンド

運用報告書

第11期（決算日 2020年4月6日）

（計算期間 2019年4月6日～2020年4月6日）

D I A Mマネーマザーファンドの第11期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2009年10月29日から無期限です。
運用方針	安定した収益の確保をめざします。
主要投資対象	国内発行体の公社債、転換社債、ユーロ円債、資産担保証券ならびにCD、CP、コールローン等の国内短期金融資産を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合は、純資産総額の10%以下とします。 外貨建て資産への投資は行いません。

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債券組入比率	新株予約権付社債(転換社債)	債券先物比率	純資産総額
	期騰落	中率				
7期(2016年4月5日)	円	%	%	%	%	百万円 3,158
8期(2017年4月5日)	10,098	0.1	80.6	—	—	1,045
9期(2018年4月5日)	10,104	0.1	71.2	—	—	1,030
10期(2019年4月5日)	10,099	△0.0	71.1	—	—	16,167
11期(2020年4月6日)	10,098	△0.0	79.4	—	—	1,139
	10,089	△0.1	69.3	—	—	

(注1) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

(注3) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

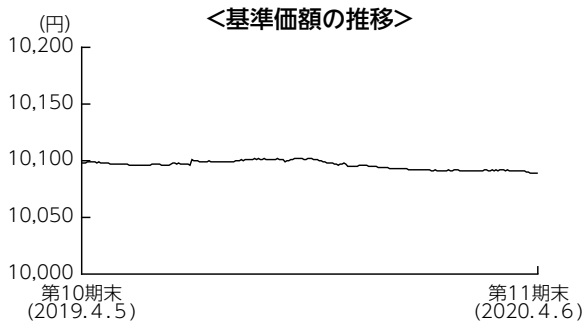
■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額		債 組 入 比 率	新 株 予 約 権 付 社 債 (転 換 社 債) 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	円	騰 落 率			
(期 首) 2019年 4 月 5 日	10,098	% -	% 79.4	% -	% -
4 月 末	10,097	△0.0	79.4	-	-
5 月 末	10,096	△0.0	79.4	-	-
6 月 末	10,097	△0.0	78.0	-	-
7 月 末	10,099	0.0	74.6	-	-
8 月 末	10,101	0.0	74.6	-	-
9 月 末	10,102	0.0	74.8	-	-
10 月 末	10,097	△0.0	73.9	-	-
11 月 末	10,094	△0.0	73.9	-	-
12 月 末	10,092	△0.1	73.3	-	-
2020年 1 月 末	10,092	△0.1	71.3	-	-
2 月 末	10,091	△0.1	69.9	-	-
3 月 末	10,089	△0.1	69.3	-	-
(期 末) 2020年 4 月 6 日	10,089	△0.1	69.3	-	-

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

■当期の運用経過（2019年4月6日から2020年4月6日まで）



基準価額の推移

当期末の基準価額は10,089円となり、前期末比で0.09%下落しました。

基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主としてわが国の短期公社債に投資し、安定した収益の確保をめざした運用を行いました。が、日銀のマイナス金利政策の影響が大きく基準価額は前期末比で下落して期末を迎えました。

投資環境

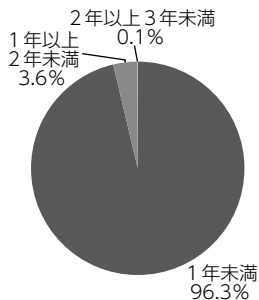
国内短期金融市場では、3ヵ月物国庫短期証券利回りは日銀の金融緩和政策の影響からマイナス圏で推移しました。日銀が黒田総裁の第2期就任以降も「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を続けており、国債利回りには低下圧力がかかっていることが要因となりました。一方、国債を除く債券については、プラス利回りに対するニーズも強いことから、0%前後の利回りに張り付いた状態になりました。

ポートフォリオについて

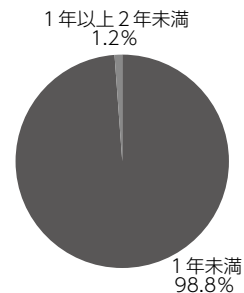
残存期間の短い国債や政府保証債、地方債などで運用を行いました。

【運用状況】 ※比率は組入債券の時価評価額に対する割合です。

○残存年限別構成比 期首（前期末）



当期末



今後の運用方針

引き続き短期公社債などを中心に投資を行い、安定した収益の確保をめざします。市場環境によっては、目標とする運用ができない場合があります。

■1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

■売買及び取引の状況（2019年4月6日から2020年4月6日まで）

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国	内		
	国債証券	300,183	11,723,868 (500,000)
	地方債証券	15,223	— (107,360)
	特殊債証券	—	— (21,000)

(注1) 金額は受渡代金です（経過利分は含まれておりません）。

(注2) () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■利害関係人との取引状況等（2019年4月6日から2020年4月6日まで）

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

公社債

(A) 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区 分	当 期				末		
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	700,000	700,395	61.5	—	—	—	61.5
地方債証券	43,470	43,649	3.8	3.8	—	—	3.8
特殊債証券	45,000	45,270	4.0	—	—	—	4.0
合 計	788,470	789,314	69.3	3.8	—	—	69.3

(注1) 組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 無格付銘柄については、BB格以下に含めて表示しています。

(B) 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債銘柄別

銘柄	当		期		末									
	利	率	額	面	金	額	評	価	額	償	還	年	月	日
		%		千円		千円		千円						
(国債証券)														
388回	利付	国庫債券	(2年)		0.1000	100,000		100,025				2020/05/15		
389回	利付	国庫債券	(2年)		0.1000	300,000		300,108				2020/06/01		
391回	利付	国庫債券	(2年)		0.1000	200,000		200,162				2020/08/01		
392回	利付	国庫債券	(2年)		0.1000	100,000		100,100				2020/09/01		
小	計				—	700,000		700,395				—		
(地方債証券)														
27年度	2回	千葉県	公募公債		0.1770	14,670		14,672				2020/05/25		
27年度		京都府	京都みらい債		0.1000	13,800		13,794				2020/09/02		
474回		名古屋市	公募公債	10年	1.3100	15,000		15,181				2021/03/19		
小	計				—	43,470		43,649				—		
(特殊債券)														
112回		政保	日本高速道路保有・債務返済機構		1.1000	30,000		30,108				2020/07/31		
117回		政保	日本高速道路保有・債務返済機構		1.0000	6,000		6,030				2020/09/30		
133回		政保	日本高速道路保有・債務返済機構		1.3000	5,000		5,070				2021/04/30		
137回		政保	日本高速道路保有・債務返済機構		1.2000	4,000		4,060				2021/06/30		
小	計				—	45,000		45,270				—		
合	計				—	788,470		789,314				—		

■投資信託財産の構成

2020年4月6日現在

項目	当		期		末
	評	価	額	比	率
			千円		%
公社債			789,314		69.3
コール・ローン等、その他			350,454		30.7
投資信託財産総額			1,139,769		100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年4月6日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,139,769,563円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	350,041,819
公 社 債(評価額)	789,314,782
未 収 利 息	319,264
前 払 費 用	93,698
(B) 負 債	-
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	1,139,769,563
元 本	1,129,674,818
次 期 繰 越 損 益 金	10,094,745
(D) 受 益 権 総 口 数	1,129,674,818口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,089円

(注1) 期首元本額 16,010,803,187円
追加設定元本額 44,692,321円
一部解約元本額 14,925,820,690円

(注2) 期末における元本の内訳

クルーズコントロール	990,000,991円
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<円コース>	870,000円
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<豪ドルコース>	530,000円
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース>	70,000円
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<ブラジルレアルコース>	10,530,000円
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<中国元コース>	149,716円
ネット証券専用ファンドシリーズ 新興市場日本株 レアル型	103,986円
DIAM グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド 資源国通貨バスケットコース	4,486,988円
DIAM グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド ブラジルレアルコース	4,586,699円
DIAM グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド 円コース	997,109円
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<米ドルコース>	5,972円
USストラテジック・インカム・ファンドAコース (為替ヘッジあり)	993,740円
USストラテジック・インカム・ファンドBコース (為替ヘッジなし)	1,987,479円
DIAM-ジャナス グローバル債券コアプラス・ファンド<DC年金>	9,935円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) 円コース	9,925円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) 米ドルコース	9,925円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) 豪ドルコース	9,925円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) メキシコペソコース	9,925円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) トルコリラコース	9,925円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) ブラジルレアルコース	9,925円
USストラテジック・インカム・ファンド (年1回決算型) ヘッジあり	9,924円
USストラテジック・インカム・ファンド (年1回決算型) ヘッジなし	9,924円
マシューズ・アジア株式ファンド	59,376,493円
One世界分散セレクト (Aコース)	99,040円
One世界分散セレクト (Bコース)	99,040円
One世界分散セレクト (Cコース)	99,040円
世界8資産リスク分散バランスファンド (目標払出し型)	99,109円
リスクコントロール型ETF分散投資ファンド (適格機関投資家限定)	54,500,083円
期末元本合計	1,129,674,818円

■損益の状況

当期 自2019年4月6日 至2020年4月6日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	4,879,508円
受 取 利 息	5,642,396
支 払 利 息	△762,888
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△8,301,781
売 買 益	43,245
売 買 損	△8,345,026
(C) 当 期 損 益 金(A+B)	△3,422,273
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	156,380,359
(E) 解 約 差 損 益 金	△143,271,020
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	407,679
(G) 合 計(C+D+E+F)	10,094,745
次 期 繰 越 損 益 金(G)	10,094,745

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。